

第1回 苫小牧港港湾脱炭素化推進協議会 議事概要

(令和8年1月26日(月) 14:00~15:30)

情報提供

- (株)北洋銀行より、サステナブルファイナンスについて、概要や特徴のほか、横浜港、川崎港、神戸港における活用事例について情報提供があった。
- 苫小牧市より、近年のGX・DX関連産業の動向や、企業立地に関する支援体制について情報提供があった。

議題

- 事務局より構成員の変更について提案し、了承された。
- 苫小牧港港湾脱炭素化推進計画見直し案について、説明ならびに質疑応答を行った。

今後の進め方

- 令和7年度中の計画見直しを目指し、最終調整を実施していく旨、また来年度以降もプロジェクトの進捗状況を定期的にヒアリングする旨を説明した。

<主な意見・コメント>

- 水素キャリアについて、アンモニアとMCHと液化水素が並列に出ているが、苫小牧港においてはアンモニアが先に来て、液化水素とMCHはまだ時間を要するため、その時間軸を意識した記載が必要ではないか。
- アンモニアサプライチェーン構築に関する参画企業数について、最新の状況に合わせた記載修正が必要ではないか。
- CCS事業について、試掘を開始する運びとなった。引き続き、関係者の皆様へ前広にご相談をしながら取り組みを進めていきたい。